

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

【大腸内視鏡検査とは】

大腸内視鏡検査は、大腸の病気(ポリープ、腫瘍、炎症)の診断や、治療方針を決めるために不可欠な検査です。最近では大腸癌などの大腸の病気は増加傾向にあり、また、大腸ポリープや早期大腸癌にたいする大腸内視鏡による発見や治療技術が著しく進歩しています。今回、大腸内視鏡検査をおすすめいたしますので、以下のことを十分ご理解いただいたうえで、検査をお受けください。

【検査の内容について】

検査は可能な限り全大腸を観察する方針で行っています。所要時間は、個人差がありますが20分～30分程度です。大腸の屈曲部の通過の際に多少の痛みを感じることもあり、また、観察のために適量の空気を入れるため、お腹が張った感じが認められます。しかし、これらの不快感は一時的なもので、検査後すぐにとれますので心配はありません。内視鏡検査でポリープなどの病変が認められた場合には、組織を採取し検査します。

【検査の安全性・起こりうる合併症】

大腸内視鏡検査は安全な検査です。ただし検査による合併症が全くないわけではありません。観察目的の場合には、500-1000 件に1件程度の頻度で合併症が認められます。合併症のうち問題となるのは大腸穿孔で、ほとんどの場合、大腸の癒着や大腸壁に脆弱部分が認められるなどの背景があって発生します。この場合は直ちに入院し、手術治療が必要になります。他に、組織検査に伴う出血がありますが、通常は少量で短時間で止血されます。当院では、検査を受けられる皆様に、この検査とそれによって得られる診断・治療上の利益、および稀に発生する合併症とその処置についてよくご理解していただきたいと思っております。

【代替可能な検査】

大腸の検査は、上述の内視鏡検査以外に、バリウムなどの造影剤を用いた大腸X線検査(いわゆる注腸造影)があります。しかし、X線検査では異常を認めた場合に生検(上述)を行うことができません。

【検査の同意を撤回する場合】

いったん同意書を提出しても、検査が開始されるまでは、検査をやめることができます。やめる場合にはその旨を下記までご連絡願います。

同意書

私は 大腸内視鏡検査の目的と方法・危険性について医師の説明および上記の記載事項を十分理解いたしました。ひうらクリニックで大腸内視鏡検査を受けることに同意します。この説明により、予定される検査および関連事項についてよく理解できましたので、検査の実施を申し込みます。

平成 年 月 日

患者さん氏名

印

ご家族氏名

印